

平成 23 年 4 月 20 日



森づくり集団「^{しほり} 菜」事務局通信 Vol.31 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】【編集後記】



やっとアオゲラの撮影が出来ました。第 2 フィールドにて 2011.04.03 撮影

【今月のお知らせ】

平成23年度 総会案内

日 時 : 平成23年4月23日(土曜日)
13:00 ~ 17:00
会 場 : ふじみ野市立フクトピア会議室 (地図は添付資料参照)
ふじみ野市福岡 1 - 2 - 5 TEL:049-264-7971
東武東上線・上福岡駅下車

【平成23年度会費納入のお願い】(年額3,000円)
4月16日までに、下記銀行口座にお振込みをお願いいたします。
振込銀行 = 埼玉りそな銀行 ふじみ野支店
口座番号 = 店番;674 口座番号;0570087
口座名義 = 「森作り集団菜事務局」

総会のご報告は来月の通信に掲載いたします。

事務局

【今月の活動報告】

4月3日(日)10:00～

下富第3フィールド

参加者 / 神坐、豊島、小林、吉田ひ、吉田あ、渡部、緑川、北村み、北沢
富沢
(敬称略)

活動担当者 / 武田、土金

肌寒い天気なので、焚火で暖を取った後、シイタケの菌打ちを行い、仮伏せをしました。来年が楽しみです。お昼は緑川さんが用意してくれた美味しいじゃがいもを食べました。また、枯損木の伐採を行いました。



フィールドの奥に見事なシュンランが咲いていました。



作業終了後、隣の原っぱでしばし植物の観察を行いました。
タネツケバナが一面に白い花をつけていました。

活動担当者 土金

第3回 間伐材を使った巣箱作り

2月19日(土)20日(日)

栃木県岩舟町

参加者 / 緑川・吉田ひ・渡部・吉田あ・武田・土金・小林

最初にここ岩舟で巣箱作りを実施した時は、強い季節風が吹きました。群馬県伊勢崎市出身の私には久しぶりの空っ風でした。今回はそのような風も吹かずに、2日間穏やかな日和となりました。



町名の由来ともなった「岩舟山」が、今回の作業に使わせていただいた吉田宅から望めます。山裾の南側には両毛線が走っています。また、駅の北側には、かつて町の地場産業として栄えた「岩舟石」で造られた「石の資料館」があります。この資料館には、「岩舟石」に関する資料や当時使っていた機材などを展示されています。

事前に準備した板材を組み立てていきます。今回の作成が3回目になりますが、その手順にも慣れ、スムーズに作業も進みました。この作業場所には、時折ジョウビタキが一羽訪れました。この鳥は人懐こく直ぐ傍まで来ては私たちの作業の手を止めます。そして「何してるの?」と語りかけてくれました



完成した巣箱。左側の大きな巣箱がフクロウ用。真ん中の小さな巣箱がヤマガラなどの小鳥用。右のものがブッポウソウ用。

これらの巣箱は後日、東京都日出町の谷戸沢処分場跡地で環境改善および森林復元の取り組みが行われている森林内に設置されました。

記 小林



日の出に設置しました。 吉田

【次回の活動予定】

5月1日(日)

春の植生調査を行います。

下富第3フィールド

植生調査担当 吉田あ

5月15日(日)

春の植生調査を行います。

三芳フィールド

植生調査担当 吉田あ

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。
会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】

春になると待ちに待った花々が次々に咲き始めます。
今ではほとんど見られなくなってしまった花もあります。
数年前からこの時期になると「れんげ草」を探しに出かけますが、ほとんど見る事が出来なくなりました。先日新聞で毎年種から育てているという方を知り苗をわけてもらいました。なつかしい「れんげ草」が畑いっぱい咲いていました。
「おおいぬのふぐり」「たんぼぼ」「れんげ草」この3種はいずれも懐かしいふるさとの春の便りです。被災地でも力強く咲く花々の写真を見ました。日本中の力が集まっているようでした。また次の年も「れんげ草」の種を取り上手に咲いてくれることを願っています。

緑川

植物の菜

花 はな

花で大事なものは雄しべと雌しべで、花被(花弁 + ガク片)は生殖のためのアクセサリー(保護と誘引)です。

(花のいろいろ)

無花被花 花被(花弁 + ガク片)の無い花のこと。
ヤナギ類はみな無花被花で雌雄異株。
フタリスズカは1個の雌しべと2個の雄しべが集まって穂を作り花弁はありません。
ドクダミは1個の雌しべと3個の雄しべが集まり穂を作り、花びらに見えるものは花序を包んでいた総苞です。

有花被花 花被(花弁 + ガク片)をもつ花のこと。

- ・ **両花被花** : ガク片と花弁のあるもの。
花冠が全部合着しているものを合弁花冠、
離れているものを離弁花冠といいます。
同花被花 · ガク片と花弁がほぼ同形同色の花で、ガク片を外花被、
花弁を内花被という。
ユリは6枚の花弁に見えますが、
外花被(ガク片)3枚、内花被(花弁)3枚からできています。
ニワゼキショウも同様
異花被花 · ガク片と花弁がはっきり分かれているもの。
- ・ **単花被花** : ガク片だけの花のこと。
きれいな色のももあり、花びらのようですがじつはガクです。
ミズヒキのがく片は4裂して、上面3個が赤く、下面1個は白い。
オシロイバナは花冠のように見えるのはガク片で、ガクのように見えるのは苞。
キンポウゲ科には単花被花かそれに近いものが多く、キクザキイチゲ、イチリンソウ、カザグルマなどは花弁に見えるのはガク片です。

あ

森づくり集団「菜」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子